

近代の文化遺産の保存修復に関する研究 (①修06-10-5/5)

目 的

近代の文化遺産は、従来の文化財とは、規模、材質などが大きく違い、その保存方法や使用材料なども同様に違いがある。本研究では、その様な近代の文化遺産の保存修復を行う上で必要とされる材料と技術について調査研究を行う。また、保存修復だけでなく、活用方法についても、調査研究を行い、保存の方法や修復の進め方などにおいてよりよい状態で保存できるようにすることを目指している。

成 果

今年度は近代化遺産の中でも音声・映像記録メディアの保存と修復に関する手法や問題点をテーマとして研究を行った。保存修復に実際に携わっている担当者の方々5人と国外の方1人を招き、音声・映像記録メディアの保存と修復に関する手法や問題点に関する検討会を2011（平成23）年1月14日に東京文化財研究所地階セミナー室にて実施した。さらに、フランスにおいて、国立鉄道博物館や国立自動車博物館、スイスの交通博物館において展示物の保存方法や資料の修復手法について現地にて情報交換を実施した。加えてドイツの溶鉱炉跡を訪れ、屋外保存されている鉄構造物に関する現地調査を実施した。国内においては新潟県佐渡市の佐渡金銀山遺跡、静岡県伊豆の国市の葦山反射炉、山口県萩市の反射炉などの現地調査を実施した。さらに、屋外展示されている鉄道車両や航空機等の金属を主体とした文化財に関しても同様に現地調査を実施した。加えてそのような屋外展示されている鉄道車両や航空機などの金属を主体とする文化財の防錆対策のために各種サンプルを作成し小樽市総合博物館、船の科学館、かかみがはら航空宇宙科学博物館、大樹町多目的航空公園、海上自衛隊鹿屋航空基地での曝露実験も継続して実施している。これらの地点では、試料の受けた紫外線量をはじめ、温度、湿度などの測定も行い、これらの塗装仕様と劣化速度の相関についても検討している。屋外展示航空機の環境測定も継続している。

- ・調査施設：大樹町多目的航空公園、海上自衛隊鹿屋航空基地、知覧特攻記念館、万世特攻平和祈念館、日本橋、小樽市総合博物館、ドイツ技術博物館、新潟県佐渡市の佐渡金銀山遺跡、静岡県伊豆の国市の葦山反射炉、山口県萩市の萩反射炉、航空自衛隊入間基地（修武台記念館）、大分県臼杵市の明治橋等

研究会の開催 1件：第24回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「音声・映像記録メディアの保存と修復について」東京文化財研究所 11.1.14

学術雑誌等への掲載論文数 3件：・中山俊介「鉄構造物の保存と修復」『防錆管理』54 pp.1-10 (社)日本防錆技術協会 10.9.1、・飯島満、永井美和子、中山俊介「フィルモン音帯に関する調査報告」『無形文化遺産研究報告』5 pp.53-76 11.3、・中山俊介「東京文化財研究所事業『在外日本古美術品の修復協力プロジェクト』における海外工房での修復」『第33回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会 日本絵画の修復—先端と伝統一』東京文化財研究所 pp.J91-J99 11.3

学会、研究会等での発表 2件：・中山俊介「音声・映像記録メディアの保存と修復」第24回研究会「音声・映像記録メディアの保存と修復について」東京文化財研究所 11.1.14、・坪倉早智子、加藤雅人、中山俊介「劣化したシアノタイプの修復(2) —アルカリによるシアノタイプの劣化・再発色実験—」文化財保存修復学会第32回大会 長良川国際会議場 10.6.12-13

報告書の刊行 2件：『未来につなぐ人類の技10 コンクリート構造物の保存と修復』東京文化財研究所 85p 11.3、『Preservation and Utilization of Steel Structures』東京文化財研究所 65p 11.3

研究組織

○川野邊渉、中山俊介、森井順之、中村明子（以上、保存修復科学センター）、横山晋太郎、長島宏行（以上、客員研究員）